

神戸西防災通信 No.1

令和6年6月
神戸西警察署警備課

防災意識の高揚～風水害に備えて～

これからの時季は、台風や局地的な大雨の影響により、河川の急な増水・氾濫、土砂崩れなどが発生するおそれがあります。

「令和3年7月1日からの大雨」では、梅雨前線の影響により、東海地方から関東地方南部を中心に記録的な大雨となり、特に静岡県熱海市では、7月3日に土石流が発生するなどしました。

普段から「逃げるタイミング」「逃げる場所」を考えておくとともに、気象庁が発表する気象情報や、市・町長が発令する避難情報等を入手し、早めの避難を心掛けましょう。**※「兵庫県CGハザードマップ」を活用し、身の回りの場所にどんな危険が潜んでいるか知っておきましょう。**



【兵庫県CGハザードマップ】
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>

ハザードマップのほかにも、天気や川の様子、鉄道の運行状況などがわかる「リアルタイム情報」や、兵庫県の自然災害記録集「防災学習アーカイブス」があります。



現在地やお住まいの地域など、知りたい地域を選択して、ハザードマップを確認してください。

※ 画像出典：兵庫県CGハザードマップ

大雨による災害から身を守るには

- 川には絶対に近づかない**
大雨で急に水があふれることがあるので、川には絶対に近づかないようにしましょう。
- アンダーパスは通らない**
アンダーパス（交差する道路などの下を通り、周辺の道路より高さが低くなっている道路）は、水に浸かっている危険があるので注意しましょう。
- 水に浸かっている道路は注意**
水に浸かっている道路は、マンホールや側溝のふたが外れていても見えず、転落する可能性があるため注意しましょう。
やむをえず水に浸かっている道路を歩く場合は、傘などで足元を確かめながら進みましょう。
- 土砂災害に注意**
崖の近くや山沿いでは、警報が発表されていなくても注意をしましょう。
土砂災害の前兆が見られたら、避難しましょう。

土砂災害の前兆

- 崖崩れ**
崖にひび割れができる。小石がバラバラと落ちてくる。
- 地滑り**
地面のひび割れや陥没などができる。崖などから水が噴き出す。
- 土石流**
山鳴りがする。急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。腐った土の臭いがする。

避難情報について

風水害や土砂災害は、「5段階の警戒レベル」が使われています。「自分の命は自分で守る」ために、テレビやインターネットなどで情報を確認しましょう。

5段階の警戒レベルと防災気象情報 参考【気象庁資料】

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町の対応	警報等	警戒レベルに相当する気象庁等の情報	指定河川洪水予報
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	大雨特別警報	高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞					
4	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報	高潮（特別）警報	氾濫危険情報
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い注意警報	氾濫警戒情報
2	自らの避難行動を確認	第2次防災体制	大雨警報に切り替える可能性が高い注意警報	高潮注意警報	氾濫注意警報
		第1次防災体制	洪水注意警報		
1	災害への心構えを高める		早期注意情報		

※ 高潮により相当な損害を生ずる海岸を「水位周知海岸」として知事が指定するとともに、高潮特別警戒水位を設定し、その水位に達した時に発表されます。
台風に伴う高潮の潮位上昇は短時間に急激に起こるため、潮位が上昇してから行動しては安全に立ち退きできないおそれがあります。
【水位周知海岸】・・・大阪湾沿岸、播磨沿岸、但馬沿岸、淡路沿岸（東浦、灘、西浦）

避難情報のポイント

市区町村から出される避難情報（警戒レベル）

危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者などは避難〉
警戒レベル4で〈全員避難〉[※]です。

※ 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。

警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。

- ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
- ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！
- ・ただし、警戒レベル5は、市町が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

警戒レベル4は避難指示に一本化されました。

- ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

警戒レベル3は高齢者だけの情報ではありません。

- ・「高齢者等」は障害のある人も含んでいます。
- ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。

豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

マイ避難カード

兵庫県では、災害の種類に合わせて避難方法をあらかじめ決めておく「マイ避難カード」の作成を推進しています。様式は兵庫県のホームページに掲載されているので、家族で事前に避難行動を確認しましょう。

マイ避難カード	
災害の種類	名前
確認!	避難材料の入手 <small>(何が危険?大雨や台風の時は何を確保?)</small>
いつ?	逃げ時 <small>(何が起こったら?)</small>
どこに?	避難先 <small>(どこに?どのルートで?)</small>
	昼(明るい時) 夜(暗い時)
どのように?	避難する方法 <small>(だれと?歩いて?車で?)</small>
	昼(明るい時) 夜(暗い時)
(その他メモ)	



非常持出袋の準備

一人ひとつ、両手が使えるリュックサックなどに準備し、家族構成にあわせて必要なものを準備しましょう。定期的に中身を確認しましょう。



非常持出袋の中身の例

- 懐中電灯 非常食 飲み水 服・下着
- タオル 手袋 マスク・体温計等（感染症対策）
- 鉛やチョコレート 薬・救急セット 携帯ラジオ
- モバイルバッテリー

災害用伝言ダイヤル



災害用伝言ダイヤル

大きな災害が起きて、電話がかからない時に、家族や友達に連絡する方法として災害用伝言ダイヤルがあります。家の電話や携帯電話などを使って、メッセージを30秒以内で録音することができます。

伝言の録音方法

- ① 「171」に電話する
- ② 「1」と電話番号を押す（固定電話の場合は市外局番から）
- ③ 録音する

伝言の再生方法

- ① 「171」に電話する
- ② 「2」と録音した人の電話番号を押す（固定電話の場合は市外局番から）
- ③ 再生する